

本の森

4月号



丹波篠山市立中央図書館通信 No. 188 2021年4月1日 発行

今月の特集

出会い

春です。新年度、新学期、新生活。人・物・出来事・そして、本・・・
たくさんものに出会える季節がやってきました。

4月2日は図書館開設記念日。1872年（明治5年）、東京湯島にのちに帝国図書館（国立国会図書館の前身）となる日本初の官立公共図書館、「東京府書籍館」が開館しました。当初は、大宝律令の時代からの呼び方で「ずしょかん」と読んでいたようです（大正以後にとしょかんに統一）。また4月30日は「図書館記念日」とされています。

2021年度も、図書館はさまざまな出会いを応援します。

『グレゴワールと老書店主』

マルク ロジェ 著 東京創元社 953. 7口

一期一会
出会う感謝



見習い介護士が出会った老人施設に入居する元書店主。本に埋もれて暮らす目も体も不自由になった老人は、本と無縁だった彼に朗読を依頼する。まるで本のソムリエのような老人の道案内で、朗読が日課となり本の世界に足を踏み入れた落ちこぼれ青年グレゴワール。彼は様々な本に出会いその魅力を知り、人と出会い成長していく・・・。

著者は「朗読家」。公共図書館の朗読活動で本と人をつなぐことに貢献したとして受賞歴があります。この物語は著者のデビュー作です。（酒井）



マークデザイン
加藤昌男

『物語づくりのための黄金パターン69』

組織・集団・舞台編

榎本 秋編著 DBジャパン 901.30 エ

文学の棚から



家で読書ばかりしているので、読みたい本は全て読み終わった、という方もおられると思います。新ジャンルの本を開拓する、ということも結構ですが、自分で物語を書いてみるのはいかがでしょう。

創作の第一歩として「上司の命令に従わず、独自に捜査を開始する一匹狼の刑事」など、主人公の設定を考えるだけでも楽しそうですが、問題は具体的にどう活躍させるのかということです。著者によると、主人公を取り巻く舞台、特に組織・集団のきちんとした掘り下げが重要とのこと。現代社会にせよ、ファンタジーの世界にせよ、そこに人間がいる限り主人公はそれらと無縁ではいられないからです。

この本はファンタジーでおなじみの「王国」から、身近な「自治会・町内会」にいたるまで、各種組織・集団の定義や成り立ち、物語の中にどう活かすかのヒントを教えてください。また君主制と立憲王政のちがいなど、もう一度歴史や社会の仕組みを学習したいという方にもおすすめです。

この本で勉強したことを元にヒット作を生み出せば、「先生」と呼ばれる生活が待っている、かもしれません。
(西澤)

『人は話し方が9割』

～1分で人を動かし、100%好かれる話し方のコツ～

永松 茂久 著 すばる舎 361.45ナ

一般書の棚から

「初対面で何を話したらいいのかわからない」、「すぐに会話が途切れて会話が續かない」、「沈黙の時間が怖い」……。こんな思いをしたことはありませんか？

人財育成 JAPAN の代表取締役で永松塾主宰の著者は、「一流の人材を集めるのではなく、今いる人間を一流にする」というコンセプトで、数多くの講演やセミナーを実施しています。

本書は、アナウンサーのように^{りゅうちょう}流暢にものを伝える、プレゼンテーションで上手に周りを巻き込む人になれる、というような話し方の方法論ではありません。相手の話を広げる「拡張話法」や、ほめ方のコツなど、職場、家族、友人、といった身近な人たちとの日常的なコミュニケーションを円滑にするための、すぐに使えそうなテクニックやアドバイスが全4章で紹介されています。

出会いの多い春、よりよい人間関係をつくる大きな助けになりそうな一冊です。
(永井)



■丹波篠山市立中央図書館(丹波篠山市西吹 88-1) TEL 079-590-1301/FAX 079-594-5450

ホームページ <https://www.city.tambasayasama.lg.jp/chuotoshokan/index.html>



映画上映会のお知らせ

入場無料
申し込み不要

「コレクター」

1997年・アメリカ 116分・吹き替え

■監督 ゲイリー フレダー

■出演 モーガン フリーマン 他

■日時 4月 9日(金) 14:00~16:00
4月10日(土) 15:00~17:00

■場所 中央図書館 視聴覚ホール

ジェームズ・パターソンのベストセラー小説が原作。モーガン・フリーマン演じるクロス刑事は、どんな難事件でも解決してきた腕利き刑事。美人で才能あふれた女性ばかり8人が誘拐され、その中になんとクロス刑事の姪が含まれていた。目撃者ケイト・マクティアナン女医の協力を得て犯人の行方を追うが、その犯人は、カサノヴァと名乗るとらえどころのない殺人鬼“コレクター”だった。

4月 図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
				1 親子ふれあい スペース開放 (図書コーナー)	2	3
4	5 休館日	6	7	8	9 映画上映会	10 丹波篠山だけ 図書館の日 映画上映会
11	12 休館日	13	14	15 親子ふれあい スペース開放 (図書コーナー)	16	17
18	19 休館日	近成恭司様写真展 4/20(火) ~ 4/28(水)		22	23	24
25	26 休館日	27	28	29	30 休館日	

Y onde M ite

よんでみて

『Ynde Mite』のコーナーでは利用者の方から寄せられたお勧めの一冊を掲載します



『52ヘルツのクジラたち』
町田 そのこ 著 Fマ
2020.04 出版

人生の救いを感じます。
徐々にホッとして幸せを感じたお話です。
ペンネーム 穂高 隆



『名短篇ほりだしもの』
北村 薫 ほか著 BFマ
2011.01 出版

「織田作之助」という作家が書いた短編が収められている40~50代の男女におすすめ。
N. S



『パチンコ 上・下』
ミン ジン リー著 933.7リ
2020.07 出版

「在日コリアン」の四代に渡る話。偏見と差別に苦しみながら生きるコリアンの幸福とやるせなさ。感動します。
ペンネーム 穂高 隆



『始まりの木』
夏川 草介 著 Fマ
2020.09 出版

学問をする意味、人生とは何か。深く考えさせられる一冊です。
ペンネーム MOON

インフォメーション

としょかんまつりイベント「わたしの一番」には、毎年多くの方に投票をいただきありがとうございます。年々好評となり、「集計結果を楽しみにしている」「一冊に決められない」「年に2回くらいしてほしい」というご意見をいただいたり、投票した本におすすめポイントを記入して下さる方が増えてきました。

そこで、2021年度の本の森では、みなさまのおすすめの本を掲載し「利用者参加の本の森」にしようとして紙面のリニューアルをいたしました。今月号には「わたしの一番」に寄せられた中からも掲載しています。特集コーナーに記入用紙と投稿箱を設置しますので、「是非読んでほしい」本をお知らせください。たくさんの投稿をおまちしています。

尚、としょかんまつりの「わたしの一番」は引き続き募集しますので今年も投票をお願いします。
(Yonde Mite 編集担当)